タンザニアにおける問題点と要望

	区分	経由団体※	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
14	税制	日機輸	(1)	税制、行政手続の不明瞭・遅延	・税制、行政手続き上の不明瞭な点や担当官により対応が異なる等、現場での混乱が手続きの遅れや非効率を招いている。居住企業の定義や課税所得の解釈の拡大がみられ、高額課税を受けるケースがある。 (内容、要望ともに変更)	・ウェブサイトなどでの必要手続きの開示、課税に関する明確な方針説明。	
16	雇用	日機輸 日機輸	(1)	就労ビザ取得手続の不明瞭・遅延	・ビジネスビザや就労許可申請の手続きに変更や不明瞭な点が多い。就労許可には大学以前の学歴(卒業・成績証明書)が新たに必要となるなど取得の難易度が高い。 (変更) ・アライバルビザ料金について以前はSingle 90 days 50USD Category: B1で入国可能であったが、現在Single 90days 250USD Category:Bとなっている。アライバルビザ料金・カテゴリ、マルチビザを取得方法も不明。 (継続)	・必要書類や手続き、ビザ種類等についての最新かつ明瞭な情報共有と周知徹底。 ・ルールを明確化して頂きたい。	
17	知的財産制度運用	日機輸	(1)	税関の水際対策の不十分	・現地当局による摘発が行なわれ一定の効果は見られるものの、市場では模倣品が堂々と売られ、また大量の模倣品を保管・取引する模倣品業者が後を絶たない。これら模倣品の大部分は国内生産ではなく国外から輸入されたものであると考えられる。 (変更)	・税関登録制度の設置等、税関が水際で模倣品を差止める制度の導入／強化をして頂きたい。	
		日機輸	(2)	商標権利化の庁手続不備の懸念	・商標の登録証訂正を行ったが長期間経過しても審理されなかった。また、訂正記録が残されていないことが判明した。	・適正な審理と迅速な対応を実施して頂きたい。	
23	諸制度・慣行・非能率な行政手続	日機輸	(1)	官僚主義	・政府機関とのやり取りにおいて官僚主義の傾向が強く、協議プロセスや手続きの遅れにつながっている。 (変更)	・組織内における一定の判断・意思決定権の委譲。	
24	法制度の未整備、突然の変更	日機輸	(1)	政策・規制の改変	・政策運営・規制運用等の急な改変が多いことから予測不能なビジネス環境が新規事業・投資へのリスクを高めている。 (変更)	・ビジネス投資環境に影響を与える政策・規制の改変に先立つ十分な官民対話・関係者ヒアリング。	
26	その他	日機輸	(1)	交通・港湾インフラの未整備	・輸送インフラ(港湾、道路、橋梁、重機材)が脆弱である事から重量物等の輸送が困難であり、輸送コストも高止まりする。 (継続)	・インフラ整備の推進。	

※経由団体:各個社の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。